日本貨物鉄道労働組合　中央本部組織部 http://www.jrfu.net/

組織部速報

２０２５年６月５日
Ｎｏ．３７

２０２５年度夏季手当第３回交渉

現時点、会社の考え
「２０２２年度夏季手当と同程度の水準をめざしたい」

（組合の主張）
・組合の要求からは大きく乖離している。
・2024年度の決算が大幅に改善したのは組合員の努力そのものであり、会社は我々の頑張りと努力に報いるべきである。
・人材の確保と職場の技術を持った組合員が定年まで働けるよう、将来展望を示すこと。
・今夏季手当に対する組合員の期待は大きい。会社は我々の主張を重く受け止め、誠意ある回答を示すこと。

組合員の皆さん！会社は、社員の苦労と努力を認識しながらも、「４年連続の単体赤字」を理由に、慎重な考えを示しました。

私たちのこの間の苦労が報われ、将来に希望を持って働くため、夏季手当満額獲得にむけ、本社への要請FAX、統一職場集会への結集、現場長要請行動、集会・座談会の開催など、職場からの闘いを強化し、組織一丸となった闘いを展開しましょう！！

第3回交渉→　山場の闘い　→　第4回交渉（回答指定日）

☆組合員と交渉状況を共有し、本社への要請FAX行動を展開しよう！
☆6･9全国統一職場集会に結集しよう！
☆各職場から現場長要請行動を展開しよう！
☆座談会・常駐体制などを精力的に展開し、組織一丸となって闘おう！

次回、第４回交渉（回答指定日）は６月１２日（木）です。